

新世紀ホームネットワークの要

Photo: Nakamura Tohru

ブロードバンドルーター 購入ガイド

爆発的に提供エリアが広がるADSL、そしてすでに35万ものユーザーを数えるCATVインターネット。高速回線を共有できるようにするブロードバンド対応のIPルーターは、これからのホームネットワークの中核だ。梅垣まさひろ

Product Showcase



「ブロードバンドルーター」とは、これまで「ローカルルーター」「IPルーター」と呼ばれていたxDSL / CATV対応のルーターの新しい呼び名だ。一般のIPルーターと区別するため、こう呼ぶようになった。現在は、使いやすさや機能が向上した第2世代の製品が揃い始めた時期でもある。ブロードバンドルーターを導入するメリットは大きく分けて2つだ。1つは、複数のパソコンからのインターネットアクセスを可能にすること。そしてもう1つは常時接続のセキュリティを確保できることだ。ブロードバンド回線が普及する今日、その高速回線と常時接続環境を快適で安全なものにするために、ルーター機器はますます欠かせない存在となっている。



ブロードバンドルーターとは

一般に「ルーター」と呼ばれる製品にはいくつかの категорияがある。ここではまず、ブロードバンド対応のIPルーターと、その他のルーターとの違いを押さえておきたい。

急激に普及するブロードバンド回線

ADSLのサービス提供エリアも急速に広がり、ユーザー数も大幅に増加を続けている。すでに多くのユーザーを抱えるCATVインターネットサービスや、一部地域で提供が始まったFTTHサービスなどと併せて、ブロードバンド回線はもはや、ごく一般的なものとなりつつある。

ブロードバンドルーターの役割

これらのブロードバンド回線を利用するとき、ルーターはどんな役割を果たすのだろうか。それは複数のパソコンで同時にインターネットを利用できるということに尽きる。

ISDNの全盛期、1台のパソコンでしか使えないITAに代わってISDNダイアルアップルーターが普及し、新製品が続々登場したのを思い出す人も多いだろう。ブロードバンドルーターも複数のパソコンで1つの回線を利用する点では、その役割は同じだ。NAT(ネットワークアドレス変換)技術を使って、1つしか割り当てられないグローバルIPアドレスを複数のパソコンで共有する仕組みを使う点も、やはり同じである。

このNATを使う副次的な効果として、ローカルのネットワーク(LAN)側にあるパソコンのセキュリティが高められるという利点もある。特別な設定をしない限り、インターネット側からはパソコンにはアクセスできないからだ。しかも、ルーターがパケットフィルター機能を備えていれば、これを使って、セキュリティはいっそう堅牢なものになる。

他のルーターとはココが違う

ルーターとは、本来異なるネットワーク同士を接続する機器である。汎用のIPルーターはインターネットにつながる専用線とイーサネット、ISDNダイアルアップルーターはISDNによるPPP接続、という具合に、異なるネットワークやメディアをつなぐ。また、ルーターは2つのネットワークを橋渡しするとき、単にパケットを受け渡すだけな

く、フィルター機能によって一部のパケットをブロックしたり、必要な通信のログを残す処理なども行う。

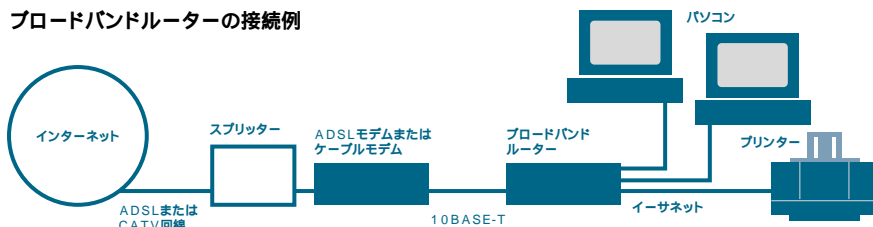
現在発売されているブロードバンド対応のルーターは、WAN側とLAN側それぞれにイーサネットポートを持つものが主流だ。ケ

ーブルモデムやxDSLモデムをWAN側、パソコンがLAN側で、それぞれイーサネットで接続し、ネットワークを橋渡しする。PPPoEなどのブロードバンドサービスに固有の機能を持っているのが、汎用のIPルーターと異なる点だ。

おもなADSL、CATVサービスの料金

サービス名	申し込み時の費用	毎月の料金	その他料金	サービス会社
フレッツ・ADSL				
タイプ1(電話同時利用)	契約料800円 / 工事費2,800円(宅内工事は別途1万4,700円)	4,800円 / モデムなどのレンタル料490円	プロバイダー料金は別	NTT東西
タイプ2(ADSL専用)	契約料800円 / 工事費2,000円(宅内工事は別途1万4,000円)	6,800円 / モデムなどのレンタル料490円	プロバイダー料金は別	
東京めたりっく通信	3万2,000円	5,500円	NTT回線使用料別途(タイプ1の場合187円、タイプ2の場合2,062円)	東京めたりっく通信
イーアクセス(@nifty使用でルータータイプの場合)				
タイプ1(電話同時利用)	3万5,500円	5,800円	プロバイダー料金は別	イーアクセス
タイプ2(ADSL専用)	3万5,500円	7,700円	プロバイダー料金は別	
@CATV	加入料2万円 / 宅内工事費2万1,000円	5,200円	-	東急ケーブルテレビジョン

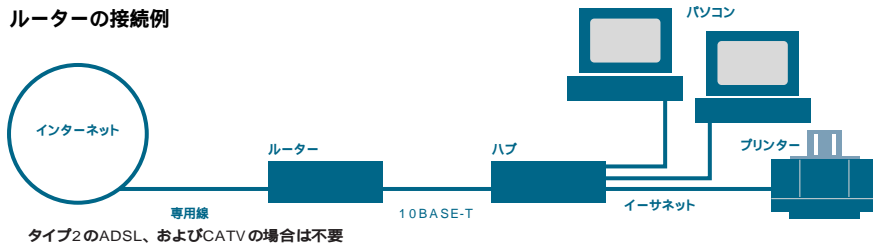
ブロードバンドルーターの接続例



ダイアルアップルーターの接続例



ルーターの接続例





ブロードバンドルーター選びのポイント

ブロードバンドルーターの選定ポイントをまとめてみた。正直なところ、どのルーターも最低限の条件はクリアしている。あとは付加機能、性能差、そして価格が決め手になるだろう。

加入サービスに対応しているか？

どんなに優れた機能を持っていて安くても、もともと使えないのでは意味がない。次に述べるPPPoEや、CATVに必要なDHCPクライアント機能など、各々の加入しているサービスに必要な機能が付いていないと使えない。まずは「xDSL / CATV対応」であることが条件だ。

PPPoEに対応しているか？

PPPoEとはPPP over Ethernetの略で、イーサネットを介してあたかもダイヤルアップ接続しているかのように動作するプロトコルである。xDSL回線を利用する際にプロバイダーとの認証でこのPPPoEが使われるケースが多い。フレッツ・ADSLなど、PPPoEによる認証機能がないと使えないサービスもある。ほとんどのルーターが対応済みだが、購入の際には一応チェックしよう。

DHCPクライアント機能に対応しているか？

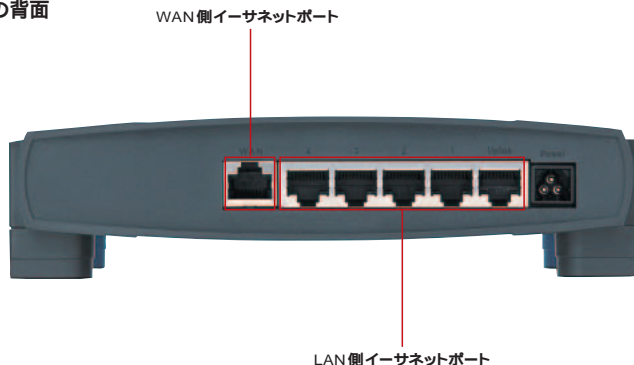
DHCPクライアント機能とは、接続先のDHCPサーバーからIPアドレスなどのネットワーク情報を取得する機能のことだ。とくにCATVインターネットでルーターを利用する場合は、ルーターがDHCPクライアント機能に対応していることが条件となる。

実効速度は十分か？

ルーターを導入する際のポイントの1つと

ブロードバンドルーターの背面

ブロードバンドルーターには写真のようにイーサネットポートが備わっている。WAN側のポートにはイーサネットのケーブルでADSLモデムやケーブルモデムを接続する。LAN側のポートにはパソコンやプリンターを接続する。WAN側は10BASE-Tでも、LAN側は10BASE-T/100BASE-TX兼用のポートを備えた機種が多い（写真はLINKSYSのBEFSR41の背面）。



して、10BASE-T対応か100BASE-TX対応かという点がある。ルーターを家庭内の小規模なネットワークのハブとしても使うならば、100BASE-TX対応製品を選びたい。また、将来的に光IP通信網などさらに高速さが期待されるブロードバンドサービスを使う段階では、100BASE-TX対応は必須の仕様だ。

ルーティング速度も十分に速い必要があるが今のところ回線の速度がxDSLの1.5MbpsやCATVの10Mbps程度なので、それほど問題にはならないだろう。あとは将来性を考えて性能のよいものを選ぼう。

固定IPサービスでの利用は？

現在のxDSLサービスはIPアドレスが接続のたびに変わってしまうが、法人向けのサービスなどでは固定IPアドレスを取得で

き、サーバーを設置できるものもある。

このようなサービスでルーターを利用する場合に、NATによるアドレス変換を行わない設定や、NATを使う場合でも固定のアドレスを割り付けて（スタティックNAT機能）LAN側にあるサーバーを公開する機能が必要になる。将来的に利用する可能性があるならば、これらの点にも配慮された機種を選んでおいたほうがよい。

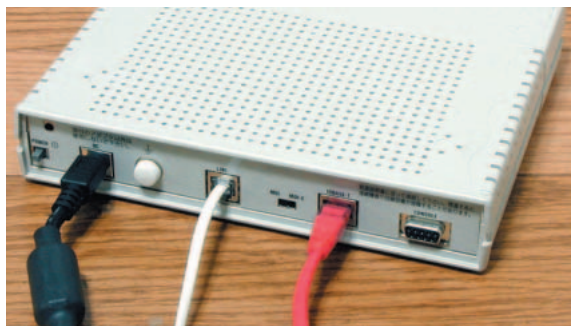
イーサネットのポート数は？

ハブを内蔵したルーターの場合、接続するパソコンの台数とイーサネットのポート数を確認しておこう。ハブを別に設置する場合は別だが、ルーター1台で済ませたいなら、ポートの数もチェック項目だ。4ポート対応、8ポート対応などの製品がある。

使いやすさも評価のポイント

ルーターは、基本機能ではそれほど差が付かない製品であるだけに、デザインや付加機能などが最終的な選択のポイントとなってくる。細くなるが設定が平易かどうかを使い勝手を大きく左右する。特に、LAN側のDHCPサーバー機能の充実度と、設定がシンプルでわかりやすいことは大事だ。

236ページからの製品レビューを参考に、自分の環境に合った製品を選択したい。



ADSLモデムの背面

xDSLモデムやケーブルモデムには、回線側との接続端子のほかに、パソコンと接続するイーサネットポートが備わっている。このイーサネットポートとルーターを接続する。イーサネットポートの代わりにUSB端子があるモデムの場合はルーターを接続できないのでその場合はモデムを交換してもらおう（写真はフレッツ・ADSL用モデム）。

Product Showcase



ブロードバンドルーターはこう使う!

ブロードバンドルーターの応用的な使い方を簡単に説明しておこう。同じブロードバンドサービスでも、ユーザーによって求めるものは異なってくる。ここでは、3つのパターンで解説する。


広帯域だからこそ複数のパソコンでシェアする

もっとも基本的な使用方法となるのが、ルーターによる複数パソコンでの回線の共有だ。メールやウェブ、FTPなどを利用するだけならば、ごく簡単な設定だけでOKである。複数のパソコンでもストレスのない快適な通信ができる。家族と共有するなどして、回線の有効利用を図ろう。ただし、一部プロバイダーではルーターでの接続が許可されていないので、その点は約款などをよく読んでおこう。

高速回線を動画やゲームでひとり占め

最近増えてきた、高画質、高音質のストリーミングサービスを利用したり、ネットワークゲームを楽しんだりしたい場合でもルーターを安心して使えるようになってきた。ゲームではスタティックNATなどの特別の設定が必要になる場合もあるが、対応しているルーターならば問題ない。購入時にはカタログなどで確認しよう。

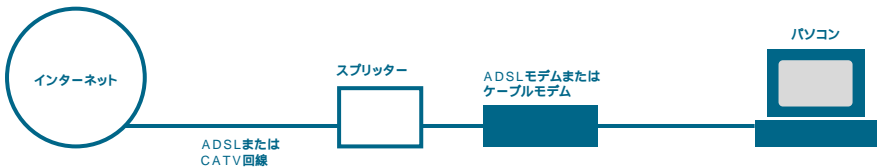
SOHOもブロードバンドで快適に

オフィスの利用では、ブロードバンド対応ルーターは必須だ。回線を共有するのももちろん、たとえばVPNを使って外部からアクセスできるファイルサーバーや、ウェブサーバーの構築には欠かせない。その際は、ルーターのスタティックNATを設定する。固定IPアドレスが使えなくても、dyndns.org  などのダイナミックDNSのサービスを使えば、外部からのアクセスも容易になる。せっかくの広帯域なのだから、ウェブサーバーなどを公開したい人もいだろう。ブロードバンド回線の導入に併せ、ストリーミング動画などを公開してみるのもおもしろい。ただし、CATVインターネットサービスではサーバー構築を禁止しているところもあるので、あらかじめ確認すること。

 www.dyndns.org

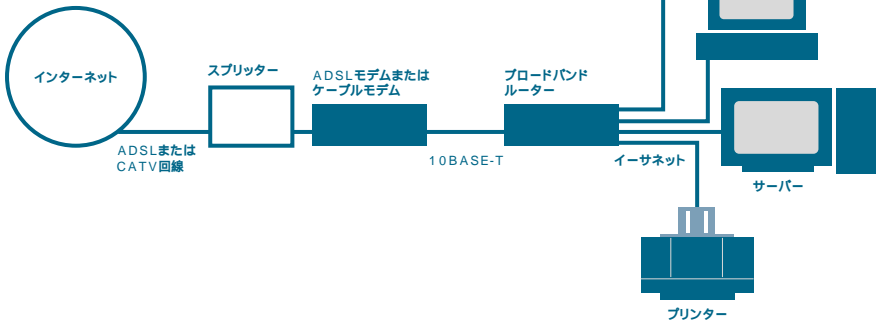
ブロードバンドルーターを使用しない場合

高速な回線を1台のパソコンで占有する。複数台のパソコンは接続できない。



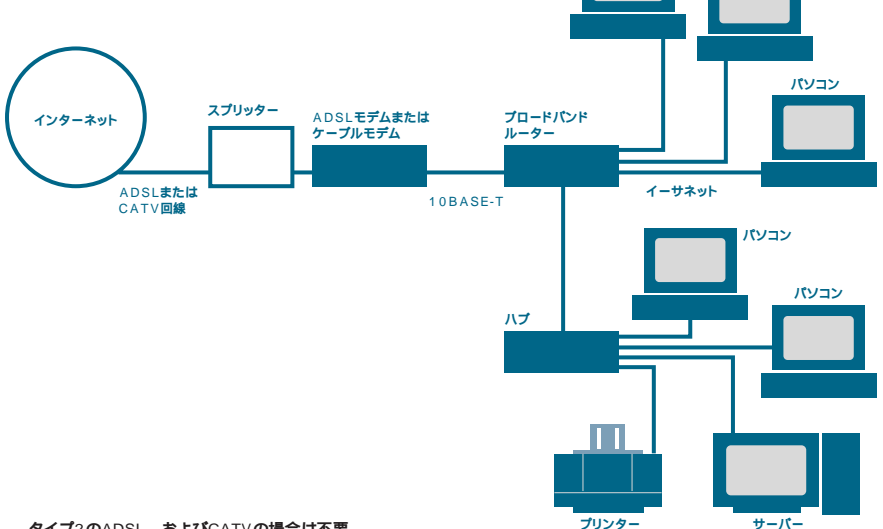
ブロードバンドルーターを使用した場合

ブロードバンドルーターのNAT機能などによって、複数台のパソコンで高速な回線を共有できる。また、ハブ機能もあるのでプリンターなどもLANで接続できるようになる。



ブロードバンドルーターの導入でネットワークを拡張できる

ブロードバンドルーターの先にハブを接続して、ネットワークを拡張できる。



タイプ2のADSL、およびCATVの場合は不要



スイッチングハブ機能内蔵の縦置き型

メルコ BroadStation BLR-TX4

無線LANのAirStationシリーズとまったく同じ、スレンダーな筐体を採用したブロードバンド対応ルーターだ。背面に無線LANカードを挿す場所があるのではと期待させるのだが、残念ながらそういった所はないようだ。ルーティングはRIP2にも対応し、パケットフィルターやIPマスカレード、スタティックNATなど、家庭用ルーターとしては十分すぎるくらいの機能を備えている。

特徴的な機能としては「DMZアドレス設定機能」がある。外部からルーターに届いたパケットのうち、宛て先不明のポート番号を持つものをLAN側の特定のパソコンに転送する機能である。オンラインゲームなどで接

続に使用されているポート番号がわからなくても、DMZに設定してしまえばうまく動作する可能性が高い。また、サーバーを立ち上げる際にも便利な機能だ。

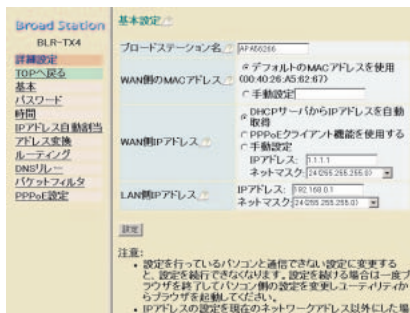
しかし、なんといっても最大のウリはスイッチングハブ機能。4ポートとはいえ家の中で使うには十分な数である。無線LANを使いたい場合は、同社のWLAN-L11-L(240ページ参照)がおすすめだ。



価格 1万5,800円
問い合わせ (株)メルコ(03-5350-7897)
buffalo.melcoinc.co.jp

対応サービス: CATV、ADSL
PPPoE ファームウェアのアップデートで対応
ポート数: WAN側 1ポート(10BASE-T)
LAN側 4ポート(10BASE-T/100BASE-TX)
DHCPサーバー機能 あり
ハブ機能 スwitchング

ウェブブラウザによるBLR-TX4の設定画面。設定内容がリスト化されており、シンプルでわかりやすい。



Product Showcase

ハブと見まがうコンパクトさが最大の武器

corega BAR SW-4P

コレガといえばLAN関連機器、特にハブではおなじみのメーカーで、本機もハブと見間違えるほどのコンパクトなスタイルだ。とはいえ、このサイズに4ポートのハブはもちろん、100BASE-TXのスイッチング機能をすべて収めているあたりはさすがだ。

機能面では、PPPoEに対応し、DMZアドレス設定機能や簡単にLAN内のサーバーを公開できるバーチャルサーバー設定を用意している。高速回線を生かして積極的にサーバーなどを運用したいユーザーに最適だ。もちろんルーターの設定が苦手な初心者でも、ウェブブラウザによる「クイック設定」を使えば簡単に設定が済ませられる。ウェブ

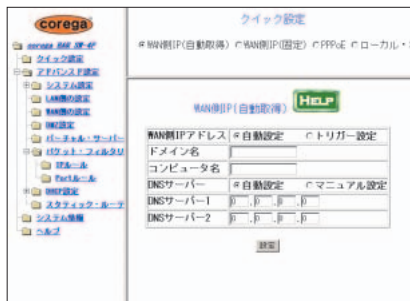
ブラウザでルーターと通信できなくなったときに使う専用ユーティリティ「First Aid Agent」も付属しており、トラブルへの対応も万全だ。ウェブブラウザでの設定中に表示可能なヘルプ画面も、シンプルなわりにツボを心得た内容で、マニュアルを見なくても設定項目を理解できるだろう。



価格 1万7,800円
問い合わせ (株)コレガ(0120-267342)
www.corega.co.jp

対応サービス: CATV、ADSL
PPPoE 対応
ポート数: WAN側 1ポート(10BASE-T)
LAN側 4ポート(10BASE-T/100BASE-TX)
NAT/IPマスカレード機能 あり
DHCPサーバー機能 あり
ハブ機能 スwitchング

BAR SW-4Pのクイック設定画面。適宜「HELP」ボタンをクリックすると、設定項目の意味するところがわかる。





真のブロードバンドに対応する高性能機

マイクロ総合研究所 NetGenesisOPT

光ファイバーを使った100Mbpsの本格的ブロードバンド時代を見越して、その通信速度に対応すべく登場したのが「NetGenesis OPT」だ。RISC133MHzのCPUを搭載し、LAN側のみならずWAN側ポートにも100BASE-TXを採用し、実効スループット30Mbpsを確保した高性能機である。WAN側100Mbps対応の数少ないルーターでもある。

機能面でも、syslog、SNTPサーバー/クライアント機能を備え、ルーティングもRIP2までサポート。手軽に使える高性能ルーターとしての機能と性能を誇る。

設定ユーティリティソフトの「NWG設定サーバー」を介してウェブブラウザで設定

豊富な機能を備える割にシンプルな設定画面のNetGenesis OPT。設定項目の呼び出しはボタンで行く画面は版のもの)

する。今回使用したのは 版だったため、細かな設定画面などは見られなかったが、基本的な機能は旧モデルの「NetGenesis CAT」を受け継いでおり、PPPoEやNAT/IPマスカレード、静的マスカレードによるサーバーの公開など、優れた機能と高い性能を備えたルーターだ。5月中旬の発売予定。



価格 オープンブライス(5月中旬発売予定)
問い合わせ (株)マイクロ総合研究所(03-3458-9021)
www.mri.co.jp

対応サービス: 光インターネット接続、CATV、ADSL
PPPoE 対応
ポート数: WAN側 1ポート(10BASE-T/100BASE-TX)
LAN側 4ポート(10BASE-T/100BASE-TX)
DHCPサーバー機能 あり
ハブ機能 あり

スタンダードな機能重視のルーター入門機

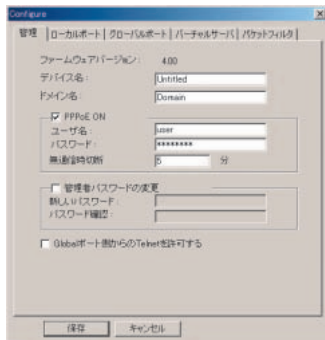
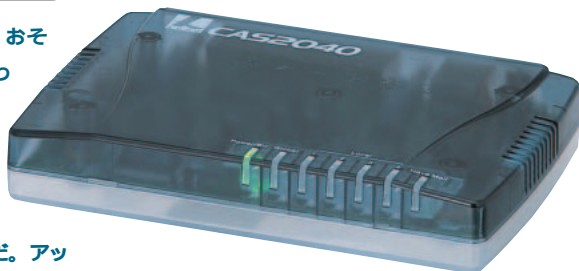
Route CAS2040

今回紹介した機種なかで、店頭での実売価格がもっとも安かったのが、この「CAS2040」だ。筐体にはやや暗めのスケルトンが使われ、内部の基板が透けて見える。

WAN側、LAN側とも、10BASE-Tと100BASE-TXを自動で切り換えるポートを備え、内蔵ハブも4ポートを採用している。機能面でも、DHCPクライアント/サーバー機能、パケットフィルターやバーチャルサーバー機能、PPPoE対応など、価格は安くても内容は充実している。ウィンドウズ用の設定ユーティリティソフトが付属しており、ウェブブラウザやtelnetによる設定にも対応する。さまざまな設定方法を選べるという点では心強い。

ウィンドウズ用設定ソフトの設定画面。設定項目がタグでグループ化されている。ウェブブラウザやtelnet経由でも設定可能だ。

目をひくのが「HaveMail」のLED。おそらくはメール着信の通知機能だと思うのだが、次期ファームウェアバージョンでの対応となっていて、現在は使えない。しかしLEDがある以上、今後、メール着信通知機能がほぼ間違いなくサポートされるはずだ。アップデートに大いに期待したい。



価格 1万5,800円
問い合わせ (株)ルートテック/ロジ(03-5465-8866)
www.routetech.co.jp

対応サービス: CATV、ADSL
PPPoE 対応
ポート数: WAN側 1ポート(10BASE-T/100BASE-TX)
LAN側 4ポート(10BASE-T/100BASE-TX)
NAT/IPマスカレード機能 あり
DHCPサーバー機能 あり
ハブ機能 スイッチング



プリントサーバーと無線LANがドッキング

Accton ADS7004BR

ADS7004BRは、ここで紹介している他機種とは性格を異にするブロードバンド対応ルーターだ。ルーターの機能だけでなく、プリントサーバーの機能と無線LANのアクセスポイント、それにシリアルポートを使ったダイヤルアップ接続までサポートする。

ルーターとしての機能は標準的で、PPPoE、DHCPクライアント/サーバー機能、NATなどの基本機能に加え、仮想サーバーやDMZポート機能などを備える。プリントサーバー機能はTCP/IPをベースにしたもので、ウィンドウズOS以外に、UNIXからの印刷もできる。無線LAN機能は同社の11Mbps無線LAN製品であるair

無線LANのアクセスポイントやプリントサーバーの機能など、多機能な割にはすっきりとまとめられた設定画面だ。

Directシリーズと互換性があり、もちろんIEEE802.11b対応であるから、AirMacカードなど他社の無線LANとも互換性がある安心して使える。

無線LANが不要なユーザーは無線LAN機能を省いたSMC7004BR(1万9,800円)という選択肢もある。



価格 3万3,000円
問い合わせ アクトンテクノロジー(株) 045-224-2332
www.accton.co.jp

対応サービス: CATV、ADSL
PPPoE 対応
ポート数: WAN側 1ポート(10BASE-T)
LAN側 4ポート(10BASE-T/100BASE-TX)
プリンタポート 1ポート(D-Sub25pin)
NAT/IPマスカレード機能 あり
DHCPサーバー機能 あり
ハブ機能 スイッチング

WAN側に100BASE-TXを採用した高速ルーター

PLANEX BRL-04F bRoadLanner

BRL-04Fは、WAN側、LAN側双方に10BASE-T / 100BASE-TX自動切り換えのポートを設け、スルーブット8.5Mbpsのルーティング性能をもつ高速ブロードバンド対応ルーターである。4ポートのスイッチングハブを内蔵する。ブラネックスブランドでおなじみの深い青色の小さな筐体だ。

機能的にはごくベーシックな作りで、PPPoEへの対応、NAT機能、フィルタリングなどブロードバンド対応ルーターに必要なものは網羅されている。同社のウェブサイトからは、最新バージョンのファームウェアをダウンロードできる。またブラネックスならではのサポートも安心材料だ。最新ファームウェアで

LAN側とWANの側ポート別の設定や、PPPoEなど付加機能の使用の有無をチェックするだけなど、設定はわかりやすい。

はマイクロソフトのNetMeetingに対応するなど、ユーザーの使い勝手を重視した機能を実現している。別の製品だが、ルーターとプリントサーバーを統合した「BRL-07P」といった製品も発売されており、これらを一気に導入したいユーザーには注目の製品だ。



価格 オープンプライス(参考価格2万4,000円)
問い合わせ ブラネックスコミュニケーションズ(株)
(0120-415-976)
www.planex.co.jp

対応サービス: CATV、ADSL
PPPoE 対応
ポート数: WAN側 1ポート(10BASE-T/100BASE-TX)
LAN側 4ポート(10BASE-T/100BASE-TX)
DHCPサーバー機能 あり
ハブ機能 スイッチング





1つ上の機能を求めるユーザー向け

LINKSYS BEFSR41

BEFSR41は、4ポートの100BASE-TXスイッチングハブ・メモリ1Mバイトを内蔵した高機能ブロードバンドルーターだ。NAT/IPマスカレードにスタティックNAT、PPPoE対応、DHCPクライアント/サーバー機能など、ブロードバンド対応ルーターとして必要な機能はすべて備わっている。しかも、専用ツールによるアクセスログの参照(残念ながらsyslogには未対応)やPPTP、IPsecなどのVPNパケットのパススルーなど、他機種にはない機能を搭載し、先行メーカーらしい差別化が図られている。

設定はウェブブラウザから行うが、高機能ゆえに設定項目が多くやや専門的に見え

青と黒のビビッドなイメージの設定画面。設定項目が多いのでやや難しいかもしれない(画面は日本語化されたベータ版)。

る。そのため初心者にはやや難しく感じられるだろう。そのような点からも、本機を使いこなすには、ルーターについてそれなりのスキルを持っていることが必要となってくる。上級ユーザーやVPNの機能を使いたいSOHO、オフィスユーザーなどにおすすめしたい。



価格 オープンブライズ(参考価格2万8,000円)
問い合わせ (株)リンクシス・ジャパン(03-5259-5137)
www.linksys.co.jp

対応サービス: CATV、ADSL
PPPoE 対応
ポート数: WAN側 1ポート(10BASE-T)
LAN側 4ポート(10BASE-T/100BASE-TX)
NAT/IPマスカレード機能 あり
DHCPサーバー機能 あり
ハブ機能 スイッチング

ブラックボディの低価格ルーター

NTT-ME BA512

同社のADSLユーザーをターゲットにした製品だが、もちろん汎用にも使える。

黒い箱に3つのLEDが映えるスタイリッシュな外観を持つ。機能的には、NAT/IPマスカレードやスタティックNAT、PPPoE対応、DHCPクライアント/サーバー機能と他の製品と比べて遜色はないが、残念なことにハブを内蔵していない。すでにハブを持っているなら良いが、それでも電源が別途必要で設置スペースも考えなければならないので購入前に考慮しておきたい。

設定は、ウェブブラウザかtelnetで行う。初心者でも簡単に設定できる「クイック設定」がウェブ設定画面に用意されており、迷うこ

BA512のクイック設定画面では、設定項目も少なく、初心者でも簡単に設定できる。telnet経由での設定もOKだ。

となく基本的な設定を済ませられる。telnetで設定する場合はすべて英語。UNIXなどから設定する際には便利だ。

もちろん、サーバーの構築や、ネットゲームのバケットを通すための設定もできるので、幅広いユーザーに適合する製品だ。NTT-MEのウェブサイトでは本機に関するくわしい情報が提供されているというのもありがたい。



価格 オープンブライズ(参考価格1万6,800円)
問い合わせ (株)NTT-ME(0120-101552)
www.ntt-me.co.jp/bar/

対応サービス: CATV、ADSL
PPPoE 対応
ポート数: WAN側 1ポート(10BASE-T)
LAN側 1ポート(10BASE-T/100BASE-TX)
DHCPサーバー機能 あり
ハブ機能 -



無線LANで広がるブロードバンド利用

無線LANが広く普及し始め、安価になってきた。それらの製品のなかにはxDSL / CATV対応ルーターとしての機能を備えるものもある。広帯域を無線LANで活用しよう。

家のなかならどこでもブロードバンド

ブロードバンド対応ルーターを購入するのであれば、無線LANを同時に導入するのも1つの方法だ。

この2つの環境をいっぺんに導入しようとする、通常ならばブロードバンド対応ルーターと無線LANアクセスポイントの2つの機器を用意しなければならない。しかし、いくつかのメーカーからブロードバンドに対応した無線LANアクセスポイントが発売されている。このような機器を使えば、ブロードバンドで無線LANをスマートに導入できる。また、最近では有線LANポートをWAN側とLAN側に1つずつ備えた製品もあり、有線LANと無線LANを混在させたネットワークをフレキシブルに構成できる。

無線LANは実効速度が遅くなるという懸念があり、環境によってはせっかく作ったブロードバンド環境のボトルネックとなる可能性も否定できない。しかし数Mbpsの回線であればそのようなことはまずないし、むしろ無線LANを活用して家の1階と2階、母屋と離れなどで線を引かずに回線を共有できるメリットを優先すべきだろう。

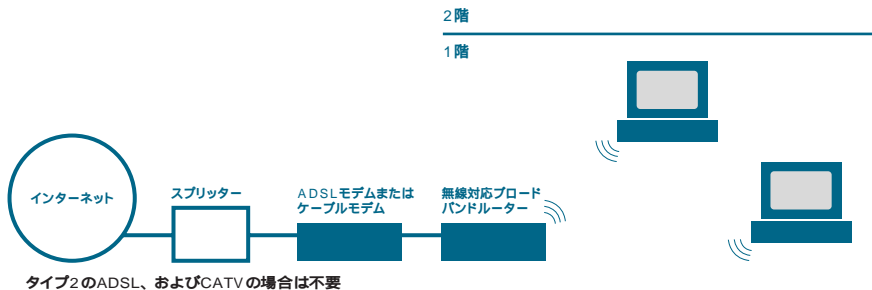
有線LANを残すかどうかで変わる選択肢

無線LANのブロードバンド対応ルーター選択のポイントは、有線LANが必要かどうかという点だ。一般的な無線LANのアクセスポイントは有線LANポートが1つしかなく、パソコンは無線でしかつなげない。すべてのパソコンを無線LAN化するのであればその製品でもよいが、有線LAN部分を残したいのであればLAN側にポートを持ったものを選択する必要がある。

なお、製品の購入時にはPPPoEに対応しているか、またCATVやxDSLに対応するかどうかを、きちんと確認してほしい。

無線LAN対応ブロードバンドルーターの接続例

無線LAN対応ブロードバンドルーターを導入すると、家屋の1階と2階に機器を配置するときなどにフレキシブルなネットワークを構成できる。無線LAN部分の速度も11Mbpsなので、ブロードバンドの高速回線にも十分に対応できる。



corega Wireless LAN Set RS-11



写真はアクセスポイント

LAN側に有線ポートも付いた有線、無線両用タイプの無線ルーター。PCカードタイプのLANアダプターが1枚付属する。

価格 4万8,800円
問い合わせ (株)コレガ(0120-267342)
www.corega.co.jp

メルコ WLAR-L11-L



CATV / xDSL対応でLAN側に4ポートのハブを備えた無線、有線両用モデル。CATVのみ対応のモデルもある。

価格 3万5,000円
問い合わせ (株)メルコ(03-5350-7897)
buffalo.melcoinc.co.jp

NEC Aterm PC-WL20R/11C



USBポート接続によるアクセスも可能なCATV / xDSL対応の無線ルーター。ユーティリティで簡単に導入できる。

価格 オープンブライズ(参考価格約4万4,800円)
問い合わせ NEC(株)0120-36-1138
www.nec.co.jp

AirMacベースステーション











ファームウェアバージョン1.3でPPPoEにも対応し、ADSLでも使える。スタイル重視のMacユーザーにオススメ。

価格 3万8,000円
問い合わせ アップルコンピュータ(株)0070-800-27753-1
www.apple.co.jp

Product Showcase



製品名	BroadStation BLR-TX4	BAR SW-4P	NetGenesis OPT	CAS2040
				
発売元	(株)メルコ	(株)コレガ	(株)マイクロ総合研究所	(株)ルートテクノロジー
問い合わせ先	03-5350-7897	0120-267342	03-3458-9021	03-5465-8866
標準価格	1万5,800円	1万7,800円	オープンブライズ(5月中旬発売予定)	1万5,800円
WAN側ポート	10BASE-T	10BASE-T	10BASE-T/100BASE-TX	10BASE-T/100BASE-TX
LAN側ポート	10BASE-T/100BASE-TX	10BASE-T/100BASE-TX	10BASE-T/100BASE-TX	10BASE-T/100BASE-TX
内蔵ハブ	スイッチング	スイッチング	スイッチング	スイッチング
内蔵ハブポート数	4	4	4	4
DHCPクライアント機能				
DHCPサーバー機能				
PPPoE				
ルーティングプロトコル	スタティック/RIP/RIP2	スタティック	スタティック/RIP/RIP2	スタティック
DMZ、サーバー公開機能	1	1		1、DMZ機能なし
NAT/IPマスカレード機能				
スタティックNAT機能				
DNSリレー機能				
パケットフィルタリング機能				
VPNパススルー対応	-	-	-	-
syslog対応	-	-	-	-
SNMP対応	-	-	-	-
設定方法	ウェブブラウザ、IP設定ユーティリティ	ウェブブラウザ	ウェブブラウザ	ウェブブラウザ、telnet、GUIツール
消費電力	8W(最大)	4.2W(最大4.8W)	DC9V、1.5A	5W(最大)
重量(g)	460	270	800	230
サイズW×H×D(mm)	76×170×155	177×32×103	288×30×143	160×27.5×104.6

製品名	ADS7004BR	BRL-04F bRoadLanner	BEFSR41	BA512
				
発売元	アクトンテクノロジー(株)	ブラネックスコミュニケーションズ(株)	(株)リンクシス・ジャパン	(株)NTT-ME
問い合わせ先	045-224-2332	0120-415-976	03-5259-5137	03-5200-5769
標準価格	3万3,000円	オープンブライズ(参考価格2万4,000円)	オープンブライズ(参考価格2万8,000円)	オープンブライズ(参考価格1万6,800円)
WAN側ポート	10BASE-T	10BASE-T/100BASE-TX	10BASE-T	10BASE-T
LAN側ポート	10BASE-T/100BASE-TX	10BASE-T/100BASE-TX	10BASE-T/100BASE-TX	10BASE-T/100BASE-TX
内蔵ハブ	スイッチング	スイッチング	スイッチング	-
内蔵ハブポート数	4	4	4	-
DHCPクライアント機能				
DHCPサーバー機能				
PPPoE				
ルーティングプロトコル	スタティック/RIP/RIP2	スタティック	スタティック/RIP/RIP2	スタティック/RIP
DMZ、サーバー公開機能		3		2、3
NAT/IPマスカレード機能				
スタティックNAT機能				
DNSリレー機能				
パケットフィルタリング機能				
VPNパススルー対応	PPTP	PPTP	PPTP、IPsec	PPTP
syslog対応	-	-	-	-
SNMP対応	-	-	-	-
設定方法	ウェブブラウザ、telnet	ウェブブラウザ、telnet	ウェブブラウザ	ウェブブラウザ、telnet
消費電力	DC12V、1.2A	DC5V、2.4A	15W(最大)	5W
重量(g)	900	218	480	240
サイズW×H×D(mm)	242×30×140	160×27×105	185×48×155	169×35×115

- 1 バーチャルサーバー機能
- 2 バーチャルコンピューター機能
- 3 ローカルサーバー機能



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp